



2023年11月 現在

FUJITSU Software

Interstage List Works Enterprise Edition V11.0.0

本商品は、様々なプラットフォームから出力された帳票を電子化して一元管理し、帳票の有効活用と帳票の印刷配信を実現するソフトウェアです。電子帳票の仕分けから保存、管理、流通、活用まで、インターネット環境での帳票管理基盤を提供し、セキュリティ対策と情報共有環境を備え、業務の効率化を実現します。さらに、帳票システムのセンターからの集中管理により、大量・高速印刷したり、遠隔地にある拠点への帳票配信・印刷に対する運用管理コストの削減ができます。

本商品は、Standard Editionの機能に加えて、大規模システム、高信頼の機能、マルチプロセス運用を提供します。帳票データを複数のサーバで共有することで、帳票量や利用者数に応じてスケラブルにサーバを拡張でき、サーバの負荷分散を可能にします。また、1台のサーバが故障しても、ほかのサーバに接続して業務を継続できます。マルチプロセス運用においては、リスト管理サーバの処理を複数のプロセスで実行できるため、クライアントの同時実行数や、帳票の参照のなどの処理量の増加にも1台のサーバで対応可能です。

- ・ **サーバ**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ **クライアント**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY

- **サーバ**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **クライアント**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /
Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

1. Interstage List Works Enterprise Edition V11.0.0の機能範囲

Enterprise Editionは、Interstage List Works Standard Edition V11.0.0の全機能に加え、次項以降の機能を提供します。

Standard Editionの機能については、Interstage List Works Standard Edition V11.0.0のソフトウェア・ガイドの「機能説明」を参照ください。

2. フォルダの共有運用対応

(1) 複数のサーバ機能間で保管フォルダ、または配信フォルダを共有できるため、一部のサーバシステムがダウンしても縮退運転による業務の続行が可能です。

(2) 各サーバは独立して帳票を処理する構造のため、将来の帳票の処理量や業務拡大に応じてスケーラブルな拡張が容易にできます。

(3) フォルダの共有運用で最大10台まで運用が可能です。

3. マルチプロセス運用対応

帳票保管活用機能において、リスト管理サーバの処理を複数のプロセスで実行できます。クライアントの同時実行数の増加や、帳票の参照などの処理量の増加に、1台のサーバで対応できます。

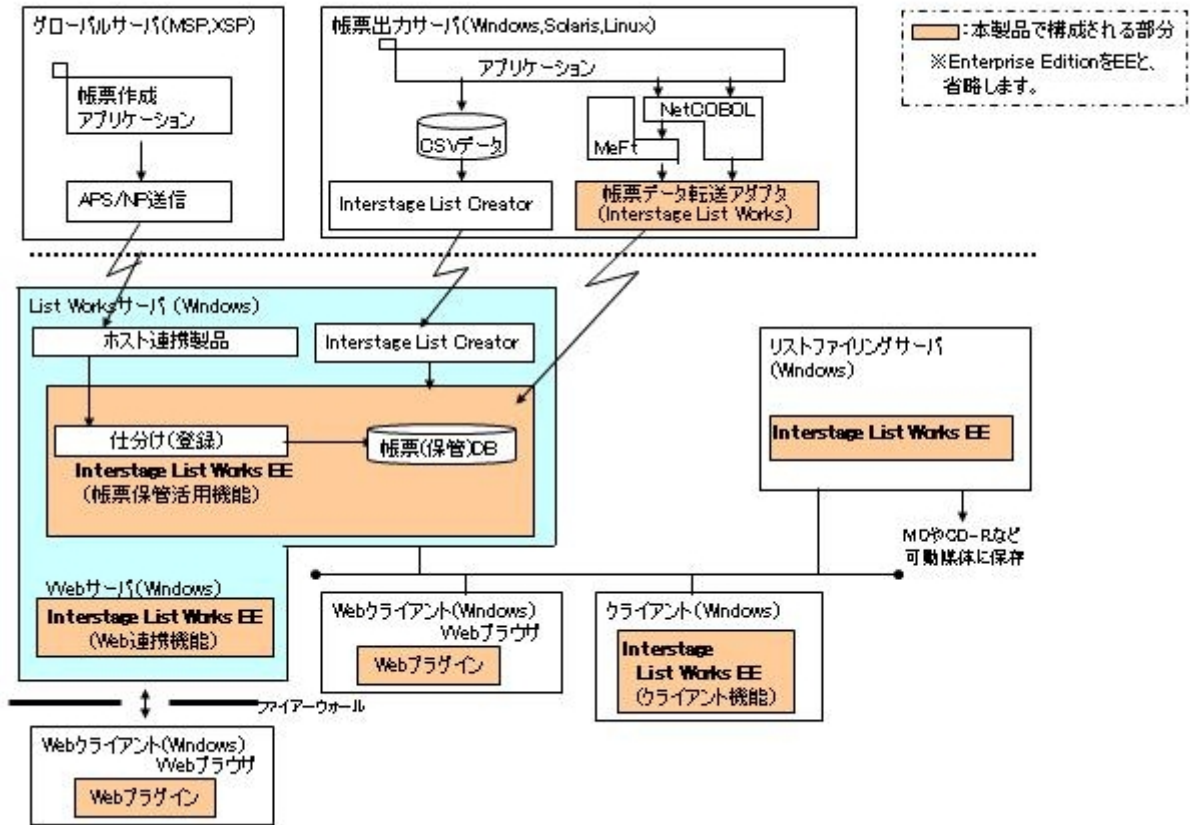
4. クラスタ対応

Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 フェールオーバー クラスタに対応しています。

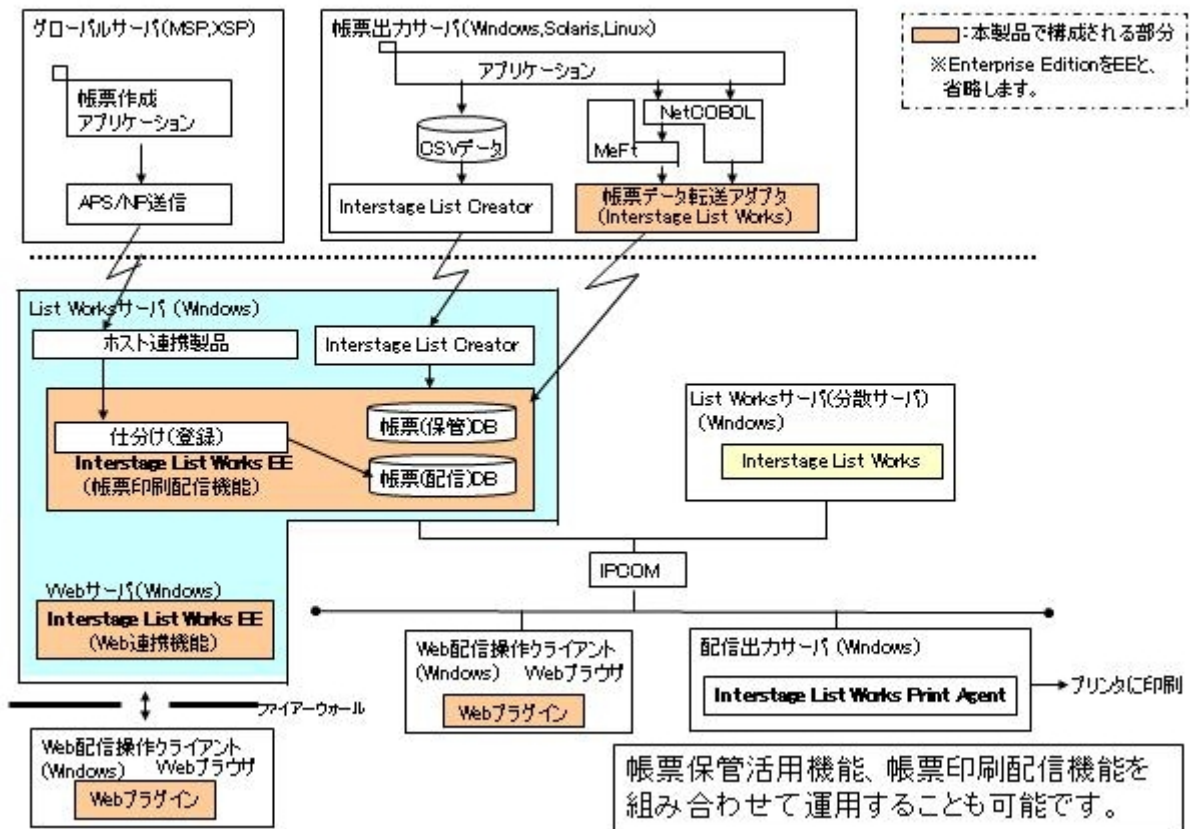
5. 帳票仕分け機能

帳票を登録する際に、帳票を仕分けすることができます。帳票の仕分けでは、帳票の分割などを行うことができます。

帳票保管活用機能を使用したシステム



帳票印刷配信機能を使用したシステム



V10.3.3からV11.0.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 新OS対応

以下のOSに対応しました。

- ・Windows Server 2022
- ・Windows 11

2. マルチブラウザ対応

Webプラグインで以下のブラウザに対応しました。

なお、従来互換のActiveXコントロールを使用して帳票を表示する場合は、Microsoft Edge Internet Explorerモードのみ使用可能です。

- ・Microsoft Edge
- ・Microsoft Edge Internet Explorerモード
- ・Google Chrome

・ オンラインマニュアル

- Interstage List Works V11.0.0 マニュアル体系と読み方 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 運用手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 環境構築手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 保守手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 帳票仕分け手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 コマンドリファレンス (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 API リファレンス (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 操作手引書 運用管理者編 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 操作手引書 利用者編 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 メッセージ集 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 用語集 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 帳票印刷配信手引書 (PDF形式)
- Interstage List Works V11.0.0 リリース情報 (PDF形式)
- Interstage List Works 帳票保管活用機能 トラブルシューティング (PDF形式)
- Interstage List Works 帳票印刷配信機能 トラブルシューティング (PDF形式)

【メディア】

- ・ Interstage List Works Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11.0.0

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage List Works Enterprise Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage List Works Enterprise Edition サーバライセンス (クライアントライセンス用) for Windows (SL&S)
- ・ Interstage List Works 1クライアントライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage List Works 20クライアントライセンス for Windows (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage List Works Enterprise Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage List Works Enterprise Edition サーバライセンス (クライアントライセンス用) for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage List Works 1クライアントライセンス for Windows (SL&S) 7年
- ・ Interstage List Works 20クライアントライセンス for Windows (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(DVD等)のみ提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. ライセンスについて

本商品には、プロセッサライセンス方式とユーザライセンス方式の2種類の購入方法があります。それぞれの方式のどちらかを選択してください。

(1) プロセッサライセンス方式

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおり必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software（ライセンス）」内、「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照ください。

(2) ユーザライセンス方式

- ・サーバライセンス（クライアントライセンス用）

サーバライセンスは、クライアントライセンスを購入して本商品をインストールする場合に購入する必要があります。本商品をインストールするサーバ数分、本ライセンスの購入が必要です。

- ・クライアントライセンス

クライアントライセンスは、利用するクライアント数分のライセンスを購入してください。

3. 本商品に含まれるコンポーネントについて

本商品に含まれる以下のコンポーネントは、複数のコンピュータにインストールして本商品と組み合わせて使用することができます。

- リストファイリングサーバ
- List Worksプリンタドライバ
- Message Client

4. ターミナルサービス(TS)/リモートデスクトップ(RDS)/XenApp運用時の購入方法

(1) プロセッサライセンス方式

プロセッサライセンスの場合は、クライアント接続が無制限に許可されているため、クライアントライセンスの購入は不要です。

(2) ユーザライセンス方式

本商品を利用予定のTS/RDS/XenAppクライアント毎に、クライアントライセンスが必要です。

5. クラスタシステム(1:1運用待機形態)運用時の購入方法

2ノードを1システムと考えると、1システムに本商品を1本購入することで使用することができます。

6. V7.0以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

7. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6.0以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

8. Interstage List Manager Enterprise Edition V8.0.0 からの移行について

Interstage List Manager Enterprise Edition V8.0.0 から移行する場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」の導入有無によって、移行方法が異なります。

・有償サポート・サービス「SupportDesk」を導入されている場合

サービスの一環として、Interstage List Works Enterprise Edition V11.0.0、およびInterstage List Creator Enterprise Edition V9.3.1以降を提供いたします（お客様からのご要求が必要です）。

・有償サポート・サービス「SupportDesk」を導入されていない場合

Interstage List Works Enterprise Edition V11.0.0とInterstage List Creator Enterprise Edition V9.3.1以降をご購入頂く必要がありますので、ご注意ください（価格の優遇はございません）。

「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

また、移行する際には、弊社営業/SEにお問合せください。

9. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

[サーバライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

対象プログラムに含まれる機能の一部である「リストファイリングサーバ」、「List Works プリンタドライバ」、「Message Client」については、お客様はサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

(3) 同梱する機能の使用について

お客様は、対象プログラムに含まれる機能の一部であるInterstage Application Server、Symfoware Serverを、お客様がInterstage List Worksをサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書の定めに従って使用する目的でのみ、使用できます。それ以外の目的では使用できません。

(4) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

1. 配信フォルダの共有運用を行う場合

配信フォルダの共有運用を行う場合は、以下の商品が必要です。

- ・ Interstage List Works Print Agent V10.0.0、V10.1.0、V10.1.1、V10.2.0、V10.3.0、V10.3.1、V10.3.2またはV10.3.3（注1）
- ・ 負荷分散装置（注2）

注1) 配信フォルダの共有運用では、配信出力サーバを別筐体にする必要があります。

注2) IPCOM EX INシリーズ、またはIPCOM EX LBシリーズ

2. その他の関連ソフトの詳細について

その他の関連ソフトについては、Interstage List Works Standard Edition V11.0.0 のソフトウェア・ガイドを参照してください。

1. プリンタ

本商品の印刷管理機能は、Windows システムに接続されるプリンタ装置で動作します。

1. 本商品に組み込まれている商品の留意事項について

Interstage Application Server Enterprise Edition V13.0.0、Symfoware Server Enterprise Edition(Native) V12.6.0の留意事項も参照してください。

2. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

3. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注) Windows 32-bit On Windows 64-bit

4. クラスタ運用について

(1) サポートするクラスタシステムは、以下のとおりです。

Windows Server 2016 フェールオーバー クラスタ

Windows Server 2019 フェールオーバー クラスタ

Windows Server 2022 フェールオーバー クラスタ

(2) 運用待機形態をサポートします。(1:1運用待機形態)

(3) 保管フォルダ、または配信フォルダに格納された帳票がクラスタ運用の対象となります。

(4) 帳票の受信、印刷、ファイリング時にフェールオーバーが発生した場合は、クラスタ運用の対象外となります。

(5) Web連携は、クラスタ運用の対象外となります。

(6) クラスタ運用を行う場合は、フォルダの共有運用を行うことはできません。

5. マルチプロセス運用について

マルチプロセス運用として、割り当てられる処理やプロセス数の推奨値など、詳細な情報については、オンラインマニュアル「運用手引書」を参照してください。

6. Windows Server 2019での帳票印刷配信機能の印刷性能について

帳票印刷配信機能において以下の場合に印刷操作を行うと、Windows Server 2012 R2やWindows Server 2016に比べ、帳票内の文字数に応じて印刷データを生成する時間が数倍増加することがあります。

- List Creator互換印刷機能を使用する、かつ、配信出力サーバのOSがWindows Server 2019の場合

詳細については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Interstage List Works)」内、「本製品のお問い合わせ」までお問い合わせください。

7. 前版との違いについて

(1) V11.0.0より、64bit商品に変更しました。

Interstage List Worksのユーザ認証に、ユーザ作成ライブラリによる認証を利用している場合は、認証を行う出口ルーチンは64ビットモードで作成する必要があります。

(2) V11.0.0より、以下のOSでの利用はサポート対象外となります。

- Windows Server 2012(64-bit)
- Windows Server 2012 R2(64-bit)

(3) V11.0.0より、以下の機能はサポート対象外となります。

- FAX配信機能
- TEAC社製CD-R装置との連携
- 以下の移行コマンドのサポート

V7以降のコマンド(lwenvin.exe、lwenvout.exe、lwresin.bat、lwresout.bat)

V6以前のコマンド(F5CWTRFL.EXE、F5CWTRLW.EXE)

- Internet Information Services(IIS)のサポート
- List Works仮想プリンタ(旧版からの互換機能)を使用した帳票の登録

8. Systemwalker Centric Managerと共存時の注意事項

以下の組み合わせでの共存はできません。

- Windows(32bit)版Systemwalker Centric Manager と、Windows版Interstage List Works V11以降

ただし、Systemwalker Centric Managerの運用管理クライアントとInterstage List Worksのクライアントは共存可能です。

9. その他の留意事項

その他の留意事項については、Interstage List Works Standard Edition V11.0.0のソフトウェア・ガイドを参照してください。

お客様向けURL

- FUJITSU Software (Interstage List Works)

本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listworks/>

- FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)

価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>